

映像・写真科		講師名: バックホースト メリッサ 梨奈	
科目名: 英語・英会話		1年	後期
担当者実務経験: 翻訳家・英会話講師		講義種別: 講義	
到達目標	①間違いを恐れず話せるようになる。 ②知っている言葉を使ってできる限りコミュニケーションをとる努力ができるようになる。 ③アルファベットと数字を使いこなせるようになる。 ④自己紹介ができるようになる。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	カタカナ語、True or False、Asking questions		
2	アルファベット・数字の聞き取り		
3	アルファベット（発音読み）・数字に関するQ&A（日付、スペル、年齢、電話番号、住所、身長、ものの重さ）		
4	アルファベット・数字に関するQ&A（スペル、誕生日、色、時間）		
5	ゲーム大会（しりとり、伝言ゲーム、ピクショナリー）		
6	単語・数字に関するQ&A（単語、金額）、Making sentences from cards		
7	単語・数字に関するQ&A（単語、足し算引き算）、Making sentences from cards		
8	単語・数字に関するQ&A（単語、1000以上の数）、Making sentences from cards		
9	発音B vs V、接頭辞		
10	ゲーム大会（かるた、ジェスチャー、True or False）		
11	Melissaについて説明		
12	発音TH vs TH、アンケート		
13	広告/HP/看板づくり		
14	自己紹介文作成・スピーチ練習		
15	自己紹介スピーチ発表		
成績評価	出席30%、参加・意欲態度40%、プリント20%、スピーチ発表10% 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格		

映像・写真科		講師名: バックホースト メリッサ 梨奈	
科目名: 英語・英会話		2学年	前期
担当者実務経験: 翻訳家・英会話講師		講義種別: 講義	
到達目標	①英語話者と英語による意思疎通を試みることができるようになる(知っている単語を駆使する、ジェスチャーを使うなど)。 ②日常生活・海外旅行時の簡単な質疑応答ができるようになる。 ③読む・書くだけでなく、聴く・話すができるようになる。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	Asking questions		
2	体の部位・学校ワード、名前		
3	もの・活動ワード、アンケート		
4	先生・科目ワード、接頭辞		
5	ゲーム大会(しりとり、伝言ゲーム、ピクショナリー)		
6	家族・家の間取りワード、Making stories		
7	食べ物ワード、Making stories		
8	ショッピング・買い物ワード、Making stories		
9	交通ワード		
10	ゲーム大会(かるた、ジェスチャー、True or False)		
11	アメリカの祝日カレンダー		
12	旅行ワード		
13	発音A、アメリカ50州		
14	テーマ別スピーチ作成・練習		
15	テーマ別スピーチ発表		
成績評価	出席30%、参加・意欲態度40%、プリント20%、スピーチ発表10% 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70~79点 C(評価) 60~69点 D(評価) 不合格		

映像・写真科		講師名： 萩原 誠	
科目名： カルチャー史論		1年	後期
担当者実務経験 ラジオパーソナリティ／番組制作会社代表		講義種別： 講義	
到達目標	ポピュラーミュージック、ファッション、近代アートの歴史を中心として、その背景にある政治・経済など数々の社会問題を知り一般教養を身につける		
回	授業内容	課題内容	備考
1	講師自己紹介、サブカルチャーの歴史をなぜ学ぶのか？		
2	大航海時代と植民地、西洋の文化と東洋の文化 幕末の日本の立場 15世紀～		
3	アメリカ大陸への移住と開拓 ブルースやジャズの流行 ヨーロッパの白人文化とアフリカの黒人文化 ブルースとは、 ブギウギのリズム ジャンルの話		
4	戦後の価値観とベビーブーム ダンスミュージックとしてのジャズとR&B JAZZとは		
5	50年代のアメリカロックンロール 白人の若者が黒人の音楽に触れることによって起きる社会問題		
6	50年代のアメリカロックンロール エルビスプレスリーの登場 ロックンロールの衰退の理由		
7	第二次大戦と戦後の冷戦 民主主義、資本主義、社会主義、共産主義とはなぜ民主主義と社会主義が対立するのか		
8	60年代フォークからフォークロックへ、ポプデュラン登場		
9	60年代のイギリスロック イギリスとはどんな国なのか？イギリスでは自由な音楽スキップルが人気に、そしてビートルズがデビュー		
10	60年代のヒット曲を聴くサイモンとガーファンクル、ポプデュラン、ビートルズを中心に		
11	シカゴブルースがロンドンで人気にローリングストーンズが誕生 ギターヒーローが誕生するエリッククラプトン、ジェフバック、ジミーページ、ジミ・ヘンドリックス		
12	ブリティッシュロックがアメリカでヒットビートルズLIVE活動中止、サイケデリックロックへと		
13	反戦運動とヒッピーカルチャー、フラワームーブメント		
14	筆記試験		
15	授業まとめ、試験のおさらい		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格		

映像・写真科		講師名： 萩原 誠	
科目名： カルチャー史論		2学年	前期
担当者実務経験： ラジオパーソナリティ／番組制作会社代表		講義種別： 講義	
到達目標	ポピュラーミュージック、ファッション、近代アートの歴史を中心として、その背景にある政治・経済など数々の社会問題を知り一般教養を身につける		
回	授業内容	課題内容	備考
1	映画マルコムXを題材にj人種差別と公民権運動を考える前編		
2	映画マルコムXを題材にj人種差別と公民権運動を考える後編		
3	50年代60年代のおさらい（連休明けになるので）		
4	スペースブーム、レトロフューチャー70年代ロック（グラム、メタル、プログレ）その1		
5	アンディウォーホル、バスキヤ等近代アート70年代ロック（グラム、メタル、プログレ）その2		
6	70年代の黒人社会ニューソウル&ファンク		
7	レゲエ その1 ジャマイカという国、ラスタファリズム		
8	レゲエ その2 ボブマーリーとジャマイカンの価値観		
9	70年代パンク その1 70年代中頃アメリカの社会状況、イギリスの経済状況		
10	70年代パンク その2 レゲエの影響～ニューウエーブ		
11	ニューウエーブと呼ばれる多様な音楽を聴いてみよう（ツートーンスカ、ニューロマンティック、ファンカラティーナ、テクノ）		
12	ヒップホップ1 ジャマイカとニューヨークの関係サウスブロンクスなど黒人達の新しい動き		
13	ヒップホップ2 ヒップホップが世界へ そして音楽の作り方が変わる		
14	筆記試験60年代70年代80年代のムーブメントの特徴		
15	これまでのまとめと80年代以降の音楽について		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格		

映像・写真科		講師名： 宮川 ちえ	
科目名： 描写 I		1学年	前期
担当者実務経験： ジュエリーデザイナー、美術予備校講師		講義種別： 演習	
到達目標	デッサンの基礎的な知識から、道具の使い方や質感表現の理解を深める。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	オリエンテーション		描いてみたいモチーフ
	授業説明		
2	基本①		
	立方体・球体		
3	基本②		200～300mlくらいの白無地の紙コップ2つ
	円柱		
4	基本③		
	スケッチ・クロッキー		
5	基本④		
	自然物の観察		りんご、れもんなど果物1点
6	質感①		
	透明なものを描く		シンプルなガラスコップ
7	質感②		無地、薄い色のフェイスタオル
	布を描く		
8	質感③		金属質のスプーン
	金属質を描く		
9	質感④		毛糸玉
	複雑なものを描く		
10	質感⑤		BOXのティッシュ箱
	印刷物を描く		
11	細密①		授業内で指示
	一つのモチーフを細密に描く		
12	細密②		
	続き・講評		
13	卓上①		授業内で指示
	卓上デッサン		
14	卓上②		
	つづき		
15	卓上③		
	仕上げ・講評		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格		

映像・写真科		講師名： 楠原 彰経	
科目名： 図学図法		1学年	前期
担当者実務経験： 美術講師、造形作家。過去にデザイン事務所にて業務に従事。		講義種別： 演習	
到達目標	造形原理や法則の理解により、創造力の幅を広げる。 手書きによる正確で丁寧な作図の練習により、表現の基礎力を身につける。 効率的な作業とレイアウト・バランス感覚の習得。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	オリエンテーション、基本作図		
	授業の進め方、課題の作成方法、線、円の基本作図練習		
2	平面図学①		
	直線と角の分割		
3	平面図学②		
	正多角形		
4	平面図学③		
	楕円、螺旋		
5	平面図学④		
	パターン		
6	立体図学①		
	立体図学概要、三面図、投影図		
7	立体図学②		
	三面図、投影図		
8	立体図学③		
	展開図		
9	立体図学④		
	展開図		
10	立体図学⑤		
	透視図概要、平行透視図（1点透視図）		
11	立体図学⑥		
	平行透視図（1点透視図）		
12	立体図学⑦		
	有角透視図（2点透視図）		
13	立体図学⑧		
	有角透視図（2点透視図）		
14	立体図学⑨		
	陰影透視図		
15	まとめと復習		
成績評価	出席、課題の提出、課題の習熟度により総合的に評価。 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

映像・写真科		講師名： 楠原 彰経	
科目名： 立体構成		1学年	前期
担当者実務経験： 美術講師、造形作家。過去にデザイン事務所にて業務に従事。		講義種別： 演習	
到達目標	立体／空間構成感覚の向上と、それに伴う造形技術の習得。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ケント紙を材料に、ユニット構成によるアートパネルの制作（1週目／4週課題）	オリエンテーション、立体構成①	カッター、ハケミ、定規（直、三角定規）、コンパス、カッターマット
	道具と材料の扱い方、制作		
2	ケント紙を材料に、ユニット構成によるアートパネルの制作（2週目／4週課題）	立体構成①	カッター、ハケミ、定規（直、三角定規）、コンパス、カッターマット
	検討、制作		
3	ケント紙を材料に、ユニット構成によるアートパネルの制作（3週目／4週課題）	立体構成①	カッター、ハケミ、定規（直、三角定規）、コンパス、カッターマット
	制作～完成		
4	ケント紙を材料に、ユニット構成によるアートパネルの制作（4週目／4週課題）	立体構成①	スケッチブック、筆記用具
	講評会、記録撮影		
5	スチレンボードを材料に、ユニット積層による軌跡充填立体の制作（1週目／4週課題）	立体構成②	カッター、ハケミ、定規（直、三角定規）、コンパス、カッターマット
	材料の扱い方、検討とアイデアスケッチ、制作		
6	スチレンボードを材料に、ユニット積層による軌跡充填立体の制作（2週目／4週課題）	立体構成②	カッター、ハケミ、定規（直、三角定規）、コンパス、カッターマット
	制作		
7	スチレンボードを材料に、ユニット積層による軌跡充填立体の制作（3週目／4週課題）	立体構成②	カッター、ハケミ、定規（直、三角定規）、コンパス、カッターマット
	制作～完成		
8	スチレンボードを材料に、ユニット積層による軌跡充填立体の制作（4週目／4週課題）	立体構成②	スケッチブック、筆記用具
	講評会、記録撮影		
9	ワイヤーを材料に、立体ドロ잉の制作（1週目／3週課題）	立体構成③	ベンチ、ニッパー、軍手、スケッチブック、筆記用具
	道具と材料の扱い方、アイデアスケッチ、制作		
10	ワイヤーを材料に、立体ドロ잉の制作（2週目／3週課題）	立体構成③	ベンチ、ニッパー、軍手、スケッチブック、筆記用具
	制作		
11	ワイヤーを材料に、立体ドロ잉の制作（3週目／3週課題）	立体構成③	ベンチ、ニッパー、軍手、スケッチブック、筆記用具
	制作～完成、講評会、記録撮影		
12	任意材料で、ランプシェードの制作（1週目／4週課題）	立体構成④	制作に必要な道具一式
	アイデアスケッチ、検討、制作		
13	任意材料で、ランプシェードの制作（2週目／4週課題）	立体構成④	制作に必要な道具一式
	制作		
14	任意材料で、ランプシェードの制作（3週目／4週課題）	立体構成④	制作に必要な道具一式
	制作～完成		
15	任意材料で、ランプシェードの制作（4週目／4週課題）	立体構成④	スケッチブック、筆記用具
	講評会、記録撮影		
成績評価	出席、提出、作品、意欲態度により総合的に評価 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格		

映像・写真科		講師名： 辻 政之	
科目名： 平面・色彩構成		1学年	前期
担当者実務経験： 自動車メーカーデザイン部→デザイン事務所→設計事務所→個人デザイン事務所 (造形デザイン・模型製作・カラー/グラフィック等)		講義種別： 演習	
到達目標	クリエイターに必要な不可欠な色彩学の基礎を習得する クリエイターに必要なとなる平面構成の表現方法/技法を習得する		
回	授業内容	課題内容	備考
1	オリエンテーション		新規購入労働材一式(アクリルカッシュー、ハレット、絵皿、筆類、定規類、筆洗等) 雑巾布、筆記具、ハサミ、カッター、スティックのり
	色彩学の基礎	B3ケントボード	配色アイデアブック、配色カード、PCCSカラーチャート クリアファイル、スケッチブック
2	【制作課題】平面構成1-1		新規購入労働材一式(アクリルカッシュー、ハレット、絵皿、筆類、定規類、筆洗等) 雑巾布、筆記具、ハサミ、カッター、スティックのり
	アイデアスケッチ/下描き	B3ケントボード	配色アイデアブック、配色カード、PCCSカラーチャート クリアファイル、スケッチブック
3	【制作課題】平面構成1-2		新規購入労働材一式(アクリルカッシュー、ハレット、絵皿、筆類、定規類、筆洗等) 雑巾布、筆記具、ハサミ、カッター、スティックのり
	下描き/彩色	B3ケントボード	配色アイデアブック、配色カード、PCCSカラーチャート クリアファイル、スケッチブック
4	【制作課題】平面構成1-3		新規購入労働材一式(アクリルカッシュー、ハレット、絵皿、筆類、定規類、筆洗等) 雑巾布、筆記具、ハサミ、カッター、スティックのり
	彩色	B3ケントボード	配色アイデアブック、配色カード、PCCSカラーチャート クリアファイル、スケッチブック
5	【制作課題】平面構成1-4		新規購入労働材一式(アクリルカッシュー、ハレット、絵皿、筆類、定規類、筆洗等) 雑巾布、筆記具、ハサミ、カッター、スティックのり
	彩色仕上げ/作品講評会	B3ケントボード	配色アイデアブック、配色カード、PCCSカラーチャート クリアファイル、スケッチブック
6	【制作課題】平面構成2-1		新規購入労働材一式(アクリルカッシュー、ハレット、絵皿、筆類、定規類、筆洗等) 雑巾布、筆記具、ハサミ、カッター、スティックのり
	習作課題	B3ケントボード	配色アイデアブック、配色カード、PCCSカラーチャート クリアファイル、スケッチブック
7	【制作課題】平面構成2-2		新規購入労働材一式(アクリルカッシュー、ハレット、絵皿、筆類、定規類、筆洗等) 雑巾布、筆記具、ハサミ、カッター、スティックのり
	アイデアスケッチ/下描き	イラストレーションボード、配色アイデアブック、配色カード、PCCSカラーチャート	配色アイデアブック、配色カード、PCCSカラーチャート クリアファイル、スケッチブック
8	【制作課題】平面構成2-3		新規購入労働材一式(アクリルカッシュー、ハレット、絵皿、筆類、定規類、筆洗等) 雑巾布、筆記具、ハサミ、カッター、スティックのり
	彩色	B3ケントボード	配色アイデアブック、配色カード、PCCSカラーチャート クリアファイル、スケッチブック
9	【制作課題】平面構成2-4		新規購入労働材一式(アクリルカッシュー、ハレット、絵皿、筆類、定規類、筆洗等) 雑巾布、筆記具、ハサミ、カッター、スティックのり
	彩色	B3ケントボード	配色アイデアブック、配色カード、PCCSカラーチャート クリアファイル、スケッチブック
10	【制作課題】平面構成2-5		新規購入労働材一式(アクリルカッシュー、ハレット、絵皿、筆類、定規類、筆洗等) 雑巾布、筆記具、ハサミ、カッター、スティックのり
	彩色仕上げ/作品講評会	B3ケントボード	配色アイデアブック、配色カード、PCCSカラーチャート クリアファイル、スケッチブック
11	【制作課題】平面構成3-1		新規購入労働材一式(アクリルカッシュー、ハレット、絵皿、筆類、定規類、筆洗等) 雑巾布、筆記具、ハサミ、カッター、スティックのり
	習作課題	B3ケントボード	配色アイデアブック、配色カード、PCCSカラーチャート クリアファイル、スケッチブック
【課題】 平	【制作課題】平面構成3-2		新規購入労働材一式(アクリルカッシュー、ハレット、絵皿、筆類、定規類、筆洗等) 雑巾布、筆記具、ハサミ、カッター、スティックのり
	アイデアスケッチ/下描き	B3ケントボード	配色アイデアブック、配色カード、PCCSカラーチャート クリアファイル、スケッチブック
13	【制作課題】平面構成3-3		新規購入労働材一式(アクリルカッシュー、ハレット、絵皿、筆類、定規類、筆洗等) 雑巾布、筆記具、ハサミ、カッター、スティックのり
	彩色	B3ケントボード	配色アイデアブック、配色カード、PCCSカラーチャート クリアファイル、スケッチブック
14	【制作課題】平面構成3-4		新規購入労働材一式(アクリルカッシュー、ハレット、絵皿、筆類、定規類、筆洗等) 雑巾布、筆記具、ハサミ、カッター、スティックのり
	彩色	B3ケントボード	配色アイデアブック、配色カード、PCCSカラーチャート クリアファイル、スケッチブック
15	【制作課題】平面構成3-5		新規購入労働材一式(アクリルカッシュー、ハレット、絵皿、筆類、定規類、筆洗等) 雑巾布、筆記具、ハサミ、カッター、スティックのり
	彩色仕上げ/作品講評会	B3ケントボード	配色アイデアブック、配色カード、PCCSカラーチャート クリアファイル、スケッチブック
成績評価	作品評価点50% 出席点30% 意欲態度点20% 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70~79点 C(評価) 60~69点 D(評価) 不合格		

映像・写真科		講師名： 金秀 研吾	
科目名： 撮影基礎		1学年	前期
担当者実務経験： コマーシャルフォトや雑誌等の撮影を手掛けるフォトグラファー		講義種別： 演習	
到達目標	カメラ操作・ライティング機材操作・写真略史・写真家論		
回	授業内容	課題内容	備考
1	各自自己紹介、授業進行ガイダンス		※内容は全て順不同です。
2	三脚を用いた撮影とその使用法		
3	写真略史。アナログ→デジタル概論		
4	カメラの仕組みの話から自分と写真の関りを語る		
5	簡単な人物ライティングで表情の面白さを表現		
6	那珂川河川公園ロケ		
7	この季節の空・雲・日差しの面白さを観察しながら		
8	人物のグループ（集合）写真の撮り方パターン		
9	風景写真よもやま話、四季の彩と光		
10	フィルターについて考える、オリジナルフィルターをつくる		
11	モノクロ写真を意識した都市景観の撮影		
12	基礎科目から学んだことを写真表現		
13	ライトドローイング演習（暗室セッティング）		
14	写真発想の話、作家研究の手引き		
15	諧調を意識したシンプルな素材構成とライティング		
成績評価	<p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。</p> <p>期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。</p> <p>各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。</p> <p>A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格</p>		

映像・写真科		講師名： 金秀 研吾、中津 弘起	
科目名： フォト実習 I		1年	後期
担当者実務経験： 商業カメラマン		講義種別： 実技	
到達目標	花鳥風月と美意識・組写真と単写真を作品レベルで出力まで。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ストロボ機材の連携操作確認		内容は順不同
2	ホワイトバランスの取り方 肌色を意識したコントロール		
3	読書週間ポスターイメージフォト（屋外編）		
4	クリップオンストロボ応用操作 シンプルライティング		
5	自分で企画した雑誌の特集ページなどを想定したイメージフォト		
6	弾丸ロケで10点ほどの組写真をレタッチまで時間内に提出		
7	ガラス器の構成と液体を用いたイメージフォト		
8	現状の技術と感覚を持って心霊写真風イメージに挑戦		
9	風景の中に異質な存在としての赤い布を配して撮る（布の色は協調）		
10	自分にとっての「新しい写真」とは、をプレゼンテーションする		
11	百道浜のビル群を撮る 夕方から福岡タワーで夜景撮影まで		
12	風景写真で身につける画面四隅への気配り 構成の綱引き		
13	クリップオンストロボ+自然光で料理写真（フード）に挑戦		
14	読書週間ポスターイメージフォト（屋内編）		
15	卒業制作に向けての行動指針確認		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

映像・写真科		講師名： 中津 弘起	
科目名： フォト実習 I		2学年	前期
担当者実務経験： 商業カメラマン		講義種別： 実技	
到達目標	花鳥風月と美意識・組写真と単写真を作品レベルで出力まで		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ストロボ機材の連携操作確認		
2	ホワイトバランスの取り方 肌色を意識したコントロール		
3	読書週間ポスターイメージフォト（屋外編）		
4	クリップオンストロボ応用操作 シンプルライティング		
5	自分で企画した雑誌の特集ページなどを想定したイメージフォト		
6	弾丸ロケで10点ほどの組写真をレタッチまで時間内に提出		
7	ガラス器の構成と液体を用いたイメージフォト		
8	現状の技術と感覚を持って心霊写真風イメージに挑戦		
9	風景の中に異質な存在としての赤い布を配して撮る（布の色は強調）		
10	自分にとっての「新しい写真」とは、をプレゼンテーションする		
11	百道浜のビル群を撮る 夕方から福岡タワーで夜景撮影まで		
12	風景写真で身につける画面四隅への気配り 構成の綱引き		
13	クリップオンストロボ+自然光で料理写真（フード）に挑戦		
14			
15	卒業制作に向けての行動指針確認		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格		

映像・写真科		金秀 研吾	
科目名:フォト実習Ⅱ		1年	後期
担当者実務経験:コマースフォトや雑誌等の撮影を手掛けるフォトグラファー		講義種別:	演習
到達目標	被写体に応じたライティングなど、スタジオ撮影の基本技術を身に着ける		
回	授業内容	課題内容	備考
1	写真機材の使用方法		
	写真の単位・ストロボ機材・セッティング		
2	ストロボ・ライティング		
	背景史などを用いた撮影		
3	人物撮影(全身)		
	ライティング		
4	これまでの授業を応用したスタ時撮影		
5	商品撮影		
	ライティング		
6	商品撮影		
	反射光・透過光においての撮影		
7	商品撮影		
	透過光でのライティング		
8	ロケーションハンティングの説明		
9	ロケーションハンティングと企画		
10	屋外撮影		
11	屋外撮影		
12	人物撮影(バスタップ)		
	写真の単位・ストロボ機材・セッティング		
13	人物撮影(バスタップ)		
	背景史などを用いた撮影		
14	人物撮影(バスタップ)		
	ライティング		
15	これまでの授業を応用したスタ時撮影		
成績評価	<p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価)80点以上 B評価)70～79点 C評価)60～69点 D評価)不合格</p>		

映像・写真科		講師名: 金秀 研吾	
科目名: フォト実習Ⅱ		2学年	前期
担当者実務経験: コマーシャルフォトや雑誌等の撮影を手掛けるフォトグラファー		講義種別: 実技	
到達目標	技術を理解し身に付け、応用できる力、表現を数値で示す事が目標。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	機材の基本		
	撮影に使用する機材の基本的使い方やカメラの設定、カメラ、ストロボ、照明機材の使い方		
2	大型ライティング		
	大きな空間を使いストロボ撮影を行う(背負いライティング)		
3	ロケーションハンティング(室内)		
	建物内での撮影ポイントを探す技術		
4	商品撮影1		
	素材(ガラス製ボトル) デティール		
5	商品撮影2		
	素材(ポリ製ボトル) 透過光 反射光		
6	ソフト技術1		
	作業の高速化、高精度化 (Photoshopやbridge) パッチ処理、オリジナルアクション作成		
7	ソフト技術2		
	オリジナルのLUTやプリセットを作り、独自コレクションを作成		
8	ストロボライティング(ジェネレーター)		
	大型ストロボを使い(ストロボ光のみ)(ストロボ光+自然光)などミックス光を学ぶ		
9	ストロボライティング(クリップオン)		
	クリップオンストロボを使い(ストロボ光のみ)(ストロボ光+自然光)などミックス光を学ぶ		
10	日中シンクロ(室内)		
	自然光と人工光のミックスを学ぶ		
11	日中シンクロ(野外)		
	自然光と人工光のミックスを学ぶ		
12	カメラでの動画撮影		
	基本的な動画撮影時のカメラ設定と機材の使い方		
13	ロケーションハンティング(野外)		
	野外での撮影ポイントを探す技術、光の位置や街の関係性から探る		
14	ロケーション撮影(商品)		
	野外にて商品撮影を行う、ポイントは場所選び、光の使い方(自然光+レフ)(日中シンクロ)		
15	ロケーション撮影(人物)		
	野外にて人物撮影を行う、ポイントは場所選び、光の使い方(自然光+レフ)(日中シンクロ)		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価)80点以上 B評価)70~79点 C評価)60~69点 D評価)不合格		

映像・写真科		講師名： 加藤 千尋	
科目名： フォトレタッチ		1年	後期
担当者実務経験： レタッチャー11年		講義種別： 実技	
到達目標	Photoshopの基本的な操作を習得し、それらのクオリティを出来るだけ上げる。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ひまわり		
	チャンネル		
2	人物の肌レタッチ		
	スタンプ ダスト&スクラッチ		
3	炎の精		
	色調整 スクリーン		
4	部屋に素材合成		
	マスク		
5	白黒に着色		
	マスク		
6	髪の毛切り抜き		
	パス マスク 描画モード		
7	前髪色変換		
	チャンネル		
8	カメラ		
	パス 描画モード		
9	旅館		
	パス 色調整		
10	羊		
	チャンネル パス		
11	栈橋		
	マスク パス レイヤースタイル 乗算		
12	剣		
	パス 描画モード		
13	合成写真作成		夏休み課題として、素材を撮影しておく
14	合成写真完成		
15	期末試験		
成績評価	<p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格</p>		

映像・写真科		講師名： 加藤 千尋	
科目名： フォトレタッチ		2学年	前期
担当者実務経験： レタッチャー11年		講義種別： 実技	
到達目標	Photoshopの基本的な操作を習得し、それらのクオリティを出来るだけ上げる。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ひまわり		
	チャンネル		
2	人物の肌レタッチ1		
	スタンプ ダスト&スクラッチ		
3	人物の肌レタッチ2		
	スタンプ ダスト&スクラッチ		
4	炎の精		
	色調整 スクリーン		
5	部屋に素材合成1		
	マスク		
6	部屋に素材合成2		
	マスク		
7	白黒に着色		
	マスク 色の観察		
8	髪の毛切り抜き		
	パス マスク 描画モード		
9	前髪色変換		
	カメラ パス 描画モード		
10	羊		
	パス チャンネル		
11	栈橋		
	マスク パス レイヤースタイル 乗算		
12	剣		
	パス 描画モード		
13	合成写真作成	夏休み課題として、素材を撮影しておく	
14	合成写真完成		
15	期末試験		
	筆記 実技		
成績評価	<p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。</p> <p>期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。</p> <p>各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。</p> <p>A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格</p>		

映像・写真科		講師名： 進 定己	
科目名： 映像文法		1年	後期
担当者実務経験： 映像プロダクションにて約30年間、コマーシャルやPR及び建設記録等の映像作品の制作に携わる。		講義種別： 実技	
到達目標	1年後期（15回） 映像制作全般にわたる基礎的知識（撮影、照明、編集、録音等について）と企画の考え方などについての学びを目指します。 その一環として映像作品を鑑賞し、作者の意図やテーマ等の考察と意見交換により各自の考える力を伸ばすことも目的とします。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	オリエンテーション：自己紹介と今学期の概要説明 講義：映像文法の考え方などについて	課題：「あなたの夢は何ですか」（文書作成） 実習：ACジャパン広告学生賞の説明と取り組みへの提示	
2	講義：基礎知識①企画・プロット、シノプシス・絵コンテについて	実習：ACジャパン広告学生賞への取り組み	
3	演習：映像作品の鑑賞と考察Ⅰ作品のテーマなど各自の考察と意見など文章作成	実習：ACジャパン広告学生賞への取り組み	
4	講義：映像作品についての意見交換Ⅰ映像作品についての各自の考察発表と意見交換	実習：ACジャパン広告学生賞への取り組み	
5	講義：基礎知識② 撮影・照明について	実習：ACジャパン広告学生賞への取り組み	
6	演習：映像作品の鑑賞と考察Ⅱ作品のテーマなど各自の考察と意見など文章作成	実習：ACジャパン広告学生賞への取り組み	
7	講義：映像作品についての意見交換Ⅱ映像作品についての各自の考察発表と意見交換	実習：ACジャパン広告学生賞への取り組み	
8	講義：基礎知識③ 編集・録音について	実習：ACジャパン広告学生賞への取り組み	
9	演習：映像作品の鑑賞と考察Ⅲ作品のテーマなど各自の考察と意見など文章作成	実習：ACジャパン広告学生賞への取り組み	
10	講義：映像作品についての意見交換Ⅲ映像作品についての各自の考察発表と意見交換	実習：ACジャパン広告学生賞への取り組み及び進捗状況確認	
11	講義：実習課題ACジャパン広告学生賞 完成前試写プレゼン	実習：ACジャパン広告学生賞への取り組み取組に向けてのブラッシュアップ等	
12	演習：映像作品の鑑賞と考察Ⅳ作品のテーマなど各自の考察と意見など文章作成	実習：ACジャパン広告学生賞への取り組み	
13	講義：映像作品についての意見交換Ⅳ映像作品についての各自の考察発表と意見交換	実習：ACジャパン広告学生賞への説明会 応募作品の別紙試写プレゼン 発表	
14	講義・演習：基礎演習①映像作品から絵コンテ・シナリオ・企画を考察する。	課題：絵コンテ・シナリオ等の考察からこの作品の企画を考える。 実習：スタジオエッセンス制作「フィルム」を通して「見たい映画を作ろう」（実習）	
15	講義：基礎演習②CM映像の企画について考察を行う。 今学期のまとめなど		
成績評価	3分の1以上の欠席は成績評価をしない。出席点は約20%、課題提出及び内容点は約80% ※授業、課題の内容等は変更の可能性あり。 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格		

映像・写真科		講師名：進 定己	
科目名：映像文法		2学年 前期	
担当者実務経験：約30年、映像制作プロダクションに従事し、制作進行から始まり後にプロダクションマネージャー及びプロデューサーとして作品等に携わる		講義種別：実技	
到達目標	広告についての基礎的な知識と制作者に必要な素養についての考察を通じクリエイティブの資質の向上を目指す。 また、与えられた課題についての映像制作を実習課題とすることで企画力、発想力、想像力、創造力などの醸成を目的とします。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	オリエンテーション今学期の概要と目標について	課題1：(文章作成)「あなたは、自分は真実だと思いますか」(次週提出)	
	講義① CMの基礎的知識(広告の定義について)	実習I：猫のイラストから発想して作品を制作する(企画・絵コンテ等を含む)	
2	講義②-1 CM作品の鑑賞(世界おもしろCMの鑑賞)	実習I：猫のイラストから発想して作品を制作する(企画・絵コンテ等を含む)	
3	講義②-2 CM作品の鑑賞(ACC受賞CMの鑑賞)	実習I：猫のイラストから発想して作品を制作する(企画、制作の方向性の決定)	
4	講義③ CMの基礎的知識(CMの構成要素)(CMのパターン)	実習I：猫のイラストから発想して作品を制作する(制作準備・撮影、素材等の制作)	
5	講義④ CMの基礎的知識(CMの効果検証)(インターネットとCM)	実習I：猫のイラストから発想して作品を制作する(撮影、素材等の制作→編集準備・編集)	
6		実習I：猫のイラストから発想して作品を制作する(編集準備・編集→一次完成)	
7		実習I：猫のイラストから発想して作品を制作する(一次完成→ブラッシュアップ→最終完成へ)	
8	講義⑤ CMの基礎的知識(マーケティングの基礎)	実習I：猫のイラストから発想して作品を制作する(完成試写)	
		実習II：「創造的な自撮り映像をつくりなさい」の提示	
9	講義⑥ CMの基礎的知識(コピーライティングの基礎)	実習II：「創造的な自撮り映像をつくりなさい」課題の考察と企画の立案	
10	講義⑦ CMの基礎的知識(知的財産権)(模倣とオリジナル)	課題2：(文章作成)「あなたならリンゴをどう説明しますか」(次週提出)	
		実習II：「創造的な自撮り映像をつくりなさい」課題の考察と企画の立案→絵コンテ等	
11	講義⑧ CMの基礎的知識 問題解決への思考(垂直思考と水平思考)(課題、前週のテーマについての考察について)	課題3(文章作成) 杉山登志についての考察・評価(次週提出)	
	講義⑨ CM作品の鑑賞(杉山登志CM作品の鑑賞)CM作品を通じて杉山登志という人間についての考察	実習II：「創造的な自撮り映像をつくりなさい」企画の立案・絵コンテ等→制作準備・撮影・素材等の制作	
12	講義⑨-1 学生による考察・意見交換(杉山登志について)学生とのディスカッションを通じて「杉山登志」という人物について考察	実習II：「創造的な自撮り映像をつくりなさい」課題の考察と企画の立案→制作準備・撮影・素材等の制作→編集準備	
13	講義⑩ CM作品の鑑賞(日清CM作品Noborderの鑑賞)CMの本質、制作者に必要なものとは何かについての考察	課題4(文章作成)本CMで制作者が伝えたかった事、広告の本質、制作者に求められるものとは何かについての考察(次週提出)	
		実習II：「創造的な自撮り映像をつくりなさい」編集準備・編集→一次完成・ブラッシュアップ	
14	講義⑩-1 学生による考察・意見交換(日清CMについて)学生との意見交換を通じて日清CMの考察	課題5(文章等作成)セルフチェックとレポート文章作成：「あなたが心から学びたいと思った経験は？」(次週提出)	
		実習II：「創造的な自撮り映像をつくりなさい」ブラッシュアップ→最終完成	
15	講義⑩-2 広告の本質と制作者に求められるもの倫理・正義についての考察	実習II：「創造的な自撮り映像をつくりなさい」の完成試写	
成績評価	出席：約20% 提出課題内容：約80% 3分の1以上の欠席の場合は評価しない。(評価のパーセンテージはあくまで目安です。) 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70~79点 C評価) 60~69点 D評価) 不合格		

映像・写真科		講師名： 平田 英一	
科目名： 動画撮影・編集		1年	前期
担当者実務経験： 音楽関係のPVを中心に制作する現役クリエイター		講義種別： 実技	
到達目標	画撮影の基本とAdobeプレミアプロを使った編集のマスター		
回	授業内容	課題内容	備考
1	自己紹介・映像制作業界などの状況報告。		
2	構成・構図、カメラの使い方	ストップモーション動画撮影	
3	ストップモーション動画編集撮影		
4	自然光を使ったライティング コンビニスイーツ撮影		
5	自然光を使ったライティング	編集	
6	コンビニスイーツ編集・発表		
7	ジンバルを使った撮影		
8	ジンバルを使った撮影・編集		
9	ジンバルを使った撮影・編集・発表		
10	生まれた町の紹介動画 構成・絵コンテ	生まれた町の紹介動画	
11	生まれた町の紹介動画 BGM、音の編集		
12	生まれた町の紹介動画 撮影ポイント解説		
13	生まれた町の紹介動画 編集		
14	生まれた町の紹介動画 編集（テロップ、トランジション）	編集作業	
15	生まれた町の紹介動画編集・発表		
成績評価	<p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格</p>		

映像・写真科		講師名： 平田 英一	
科目名： 動画撮影・編集		1年	後期
担当者実務経験： 音楽関係のPVを中心に制作する現役クリエイター		講義種別： 実技	
到達目標	画撮影の基本とAdobeプレミアプロを使った編集のマスター		
回	授業内容	課題内容	備考
1	授業内容説明、個人面談、スケジュール		
2	バラバラ動画撮影(2名1チーム) 撮影の基本		
3	バラバラ動画撮影(2名1チーム)		
4	学園紹介ムービーの企画・撮影(3名1チーム) 撮影の基本		
5	学園紹介ムービー編集 編集の基本(プレミアプロ)		
6	撮影の基本(撮影したムービーからの手直し)		
7	編集の基本(エフェクトの説明等)		
8	地元紹介ムービー企画		
9	地元紹介ムービー企画書制作		
10	地元紹介ムービー企画発表 撮影の基本	冬期休暇中に撮影	
11	地元紹介ムービー編集 編集の基本(アフターエフェクト)		
12	地元紹介ムービー編集 編集の基本(アフターエフェクト)		
13	地元紹介ムービー編集 編集の基本(アフターエフェクト)		
14	地元紹介ムービー発表		
15	個人面談・業界の説明等		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価)80点以上 B評価)70～79点 C評価)60～69点 D評価)不合格		

映像・写真科		講師名： 平田 英一	
科目名： 動画撮影・編集		2学年	前期
担当者実務経験： 音楽関係のPVを中心に制作する現役クリエイター		講義種別： 実技	
到達目標	Adobeプレミアプロの応用と実践的動画制作の流れを理解する		
回	授業内容	課題内容	備考
1	オリエンテーション		
	前期授業内容の確認と目標の設定		
2	チュートリアル動画制作		
	照明を使った撮影のポイント動画を紹介		
3	チュートリアル動画制作	撮影	
	照明を使った撮影のポイント動画を紹介		
4	チュートリアル動画制作	撮影	
	照明を使った撮影のポイント動画を紹介		
5	チュートリアル動画制作	編集	
6	チュートリアル動画制作	編集・発表	
7	プロモーション動画制作	構成	
	自由課題でプロモーション（MV含む）動画を制作		
8	プロモーション動画制作	構成	
	自由課題でプロモーション（MV含む）動画を制作		
9	プロモーション動画制作	撮影	
	自由課題でプロモーション（MV含む）動画を制作		
10	プロモーション動画制作	撮影	
	自由課題でプロモーション（MV含む）動画を制作		
11	プロモーション動画制作	編集	
	自由課題でプロモーション（MV含む）動画を制作		
12	プロモーション動画制作	編集	
	自由課題でプロモーション（MV含む）動画を制作		
13	プロモーション動画制作	編集	
	自由課題でプロモーション（MV含む）動画を制作		
14	プロモーション動画制作	編集	
	自由課題でプロモーション（MV含む）動画を制作		
15	プロモーション動画制作	編集・発表	
	自由課題でプロモーション（MV含む）動画を制作		
成績評価	<p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。</p> <p>期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。</p> <p>各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。</p> <p>A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格</p>		

映像・写真科		講師名： 落合 次郎	
科目名： AF・動画編集		1年	後期
担当者実務経験： プロデューサー		講義種別： 実技	
到達目標	基本的にプレミア、アフターエフェクトを使用		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ガレージバンドを使って音楽編集		
2	MIDI 映像のタイミングを勉強する。		
3	MIDI 映像のタイミングを勉強する。		
4	4以上コマ		
5	imovieを使って簡単な4コマ映像を実際に製作		
6	imovieを使って簡単な4コマ映像を実際に製作		
7	手品 映像を撮影、手品映像を製作		
8	手品 映像を撮影、手品映像を製作		
9	手品		
10	PVやCM等をパロディ自分で撮影したものを編集して製作		
11	VやCM等をパロディ自分で撮影したものを編集して製作		
12	VやCM等をパロディ自分で撮影したものを編集して製作		
13	VやCM等をパロディ自分で撮影したものを編集して製作		
14	VやCM等をパロディ自分で撮影したものを編集して製作		
15	まとめ		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格		

映像・写真科		講師名： 落合 次郎	
科目名： AF・動画編集		2学年	前期
担当者実務経験： プロデューサー		講義種別： 実技	
到達目標	基本的にプレミア、アフターエフェクトを使用。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	<音楽制作>premia		
2	aftereffect		
3	<グリーンバック>コマンドの確認 基本操作の復習		
4	<アフターエフェクトを使用し、動きを持たせる> 何本も作って、映像編集に興味を持ってもらう。		
5	<アフターエフェクト> 撮影期間		
6	<アフターエフェクト> 撮影期間		
7	<アフターエフェクト> 撮影期間		
8	<オリジナル短編> 撮影期間		
9	企画 撮影期間		
10	タイトル 撮影期間		
11	本編 撮影期間		
12	撮影		
13	撮影		
14	全体構成		
15	ディレクターの立場となり、パッケージを仕上げていく。		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格		

映像・写真科		講師名： 森 賢太郎	
科目名： ファッションコーディネーター		1学年	前期
担当者実務経験： フリーランススタイリスト歴28年		講義種別： 実技	
到達目標	セルフプロデュース力の向上・トレンドを意識したクリエイト		
回	授業内容	課題内容	備考
1	セルフスタイル考察		
	現在の自分と理想の自分の比較		
2	2024SS TREND MAP		
	今シーズンのトレンドマップ制作 (1/4)		
3	2024SS TREND MAP		
	今シーズンのトレンドマップ制作 (2/4)		
4	2024SS TREND MAP		
	今シーズンのトレンドマップ制作【3/4】		
5	2024SS TREND MAP		
	今シーズンのトレンドマップ制作 (4/4)		
6	セルフスタイリングMAP		
	セルフスタイリングプラン		
7	セルフスタイリングMAP		
	撮影		
8	セルフスタイリングMAP		
	撮影素材を使用して平面構成		
9	セルフスタイリングMAP		
	撮影素材を使用して平面構成		
10	SUMMER TREND MAP		
	TREND MAP作成 (1/4)		
11	SUMMER TREND MAP		
	TREND MAP作成 (2/4)		
12	SUMMER TREND MAP		
	トレンドマップ制作 (3/4)		
13	SUMMER TREND MAP		
	トレンドマップ制作 (4/4)		
14	セルフスタイリング		
	撮影		
15	セルフスタイリング		
	平面構成		
成績評価	<p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格</p>		

学科名:映像・写真科		講師名:森 賢太郎	
科目名:ファッションコーディネーター		1学年	後期
担当者実務経験: フリーランススタイリスト歴28年		講義種別: 実技	
到達目標	客観的に自分を見られるようになること/多くの選択肢の中から自己表現手法を選択出来るようになること		
回	授業内容	課題内容	備考
1	SELF MANAGEMENT CHECK	セルフスタイリング画の作成	
	現在の自分と理想の自分をデザイン画として起こし、客観的な観点からのチェックを行う		
2	2024TREND MAP作成(1/4)※トレンドチェック	リサーチ	
	2024年のトレンドチェックを行い、プレゼン→各自MAP作成		
3	2024SUMMER TREND MAP作成(2/4)※プレゼン	プレゼン	
	2024年のトレンドチェックを行い、プレゼン→各自MAP作成		
4	2024TREND MAP作成(3/4)※マップ制作	マップ制作	
	2024年のトレンドチェックを行い、MAP作成		
5	2020TREND MAP作成(1/4)※トレンドチェック	プレゼン	
	2020年のトレンドマッププレゼン		
6	URBAN OUTDOOR MAP作成(1/3)	マップ制作	
	都会的なアウトドアライフ(実際のアウトドアと都会での暮らしをシームレスに意識)マップ作成		
7	URBAN OUTDOOR MAP作成(2/3)	マップ制作	
	都会的なアウトドアライフ(実際のアウトドアと都会での暮らしをシームレスに意識)マップ作成		
8	URBAN OUTDOOR MAP作成(3/3)	プレゼン	
	都会的なアウトドアライフ(実際のアウトドアと都会での暮らしをシームレスに意識)マッププレゼン		
9	2024MONOTONE MAP作成(1/3)	マップ制作	
	モノトーンをテーマにマップ制作		
10	2026MONOTONE MAP作成(2/3)	マップ制作	
	モノトーンをテーマにマップ制作		
11	2021MONOTONE MAP作成(3/3)	プレゼン	
	モノトーンテーマのマッププレゼン		
12	2025TREND MAP作成(1/4)※トレンドチェック	リサーチ	
	2025年のトレンドチェックを行い、プレゼン→各自MAP作成		
13	2025年TREND MAP作成(2/4)※プレゼン	プレゼン	
	2025年のトレンドチェックを行い、プレゼン→各自MAP作成		
14	2025TREND MAP作成(3/4)※マップ制	マップ制作	
	2025年のトレンドチェックを行い、プレゼン→各自MAP作成		
15	2025TREND MAP作成(4/4)※マップ制作	プレゼン	
	2025年トレンドマップのプレゼン		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価)80点以上 B評価)70～79点 C評価)60～69点 D評価)不合格		

映像・写真科		講師名： 大島 遊季	
科目名： グラフィックデザイン		1年	後期
担当者実務経験： 3DCG制作会社を経て、現在フリーランスのイラストレーターとして活動中。 その他、音楽系専門学校兼任。		講義種別： 実技	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ Adobe Illustrator / Photoshopを使用し、DTPに必要なPC技術を学ぶ。 ・ 色やフォントの効果を理解し、目的に沿ったデザイン表現が出来る。 ・ 入稿データを作ることが出来る。 		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ツアーフライヤーデザイン①	好きなアーティストを選択し、ツアーのフライヤーを制作	
2	ツアーフライヤーデザイン②	文字組み・線を意識する	
3	ツアーフライヤーデザイン③	トンボやアウトライン化など 入稿データの作成後、印刷	
4	名刺デザイン① 規格サイズを理解した上で自分らしい名刺を形から考える。	制作	
5	名刺デザイン② 印刷方法や紙選び、文字組み、情報量を意識する。	制作	
6	名刺デザイン③ 最終調整・印刷カット	制作・印刷カット	
7	架空ロゴデザイン①	既存のロゴを分析・ラフ	
8	架空ロゴデザイン②	清書	
9	架空ロゴデザイン③	実際に使用されていることを想定して、アイテムに合成	
10	架空ロゴデザイン④	調整・提出	
11	実技		
12	CDジャケットデザイン① ランダムで決定した曲のイメージでビジュアルを制作	制作	
13	CDジャケットデザイン②	制作	
14	CDジャケットデザイン③	レイアウト	
15	CDジャケットデザイン④	印刷・カット	
成績評価	<p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。</p> <p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。</p> <p>期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。</p> <p>各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。</p> <p>A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格</p>		

映像・写真科		講師名： 大島 遊季	
科目名： グラフィックデザイン		2学年	前期
担当者実務経験： 3DCG映像制作会社を経て、現在フリーランスのイラストレーターとして活動中。 その他、音楽系専門学校講師兼任。		講義種別： 実技	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ Adobe Illustrator・Photoshopを使用し、DTPに必要なPC技術を学ぶ。 ・ 色やフォントの効果を理解し、目的に沿ったデザイン表現が出来る。 		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ミニ写真集① / 名刺①	制作/効果的な紙、印刷を理解する	
	写真セレクト / 規格サイズを理解した上で自分らしい名刺を形から考える。		
2	ミニ写真集② / 名刺②	制作/必要な情報を載せられているか	
	レイアウト / 印刷方法や紙選び、文字組み、情報量を意識する。		
3	ミニ写真集③/ 名刺③	制作・印刷	
	最終調整・印刷カット		
4	個展DM①	制作	
	過去作品をピックアップし、個展を想定して制作		
5	個展DM②	制作	
	文字組み		
6	個展DM③	制作・印刷	
	最終調整・印刷カット		
7	カレンダーデザイン①		
	カレンダーのスタイル・テイストを考える。		
8	カレンダーデザイン②	制作	
	ビジュアル制作		
9	カレンダーデザイン③		
	ビジュアル制作		
10	カレンダーデザイン④	イラストにあったフォント選び	
	規則的な文字組みを考える	テキストのメリハリ	
11	カレンダーデザイン⑤		
	印刷・製本・提出		
12	自分のサイトデモ制作①	操作に慣れる	Adobe XDの事前DL
	Figma(XD)を使用し、操作を学ぶ		
13	自分のサイトデモ制作②	適切な情報選び	
	載せたい作品選びやサイトマップのラフを考える		
14	自分のサイトデモ制作③		
15	自分のサイトデモ制作④	制作・完成・提出	
成績評価	<p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格</p>		

映像・写真科		講師名： 大島 遊季	
科目名： Adobe検定		1学年	前期
担当者実務経験： 3DCG制作会社を経て、現在フリーランスのイラストレーターとして活動中。 その他、音楽系専門学校兼任。		講義種別： 演習	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ Adobe Illustrator・Photoshopの基本操作から検定に必要なPC技術を身につける。 ・ Illustratorクリエイター能力認定試験・Photoshopクリエイター能力認定試験スタンダード級の合格を目指す。 		
回	授業内容	課題内容	備考
1	Illustrator① 環境設定・塗りと線・オブジェクトの描画・基本的な編集操作	オブジェクトの基本操作を理解する	
2	Photoshop① 選択ツール・その他の選択方法	選択範囲の作成を理解する	
3	Illustrator② 色の説明・レイヤー・クリッピングマスク・複合パス・パスファインダー・文字の作成	オブジェクト編集の基本操作 文字編集の基本操作を理解する	
4	Photoshop② 画像解像度・リサイズ・色調補正	画像の移動と変形 色調補正を理解する	
5	Illustrator③ パスの基本的な描画・パスの編集	パスの基本操作を理解する トレース練習	
6	Photoshop③ ブラシツール・レイヤー機能	ペイントツール レイヤーを理解する	
7	Illustrator④ 線・定規・整列・スウォッチ・パターン・グラデーション	オブジェクトの応用操作 カラー設定の応用操作を理解する	
8	Photoshop④ テキスト・フィルター・パス	パス・テキスト フィルターの概要を理解する	
9	Illustrator⑤ アピアランス・透明パネル・パス上文字・テキスト	カラー設定の応用操作 文字編集の応用操作を理解する	
10	Photoshop⑤ フォトレタッチ	色調補正を理解する	
11	Illustrator⑥ パスの応用・イラストレーション・タイポグラフィ	パスの応用操作を理解する コンテンツ制作	
12	Photoshop⑥ ロゴデザイン	レイヤー効果を理解する	
13	Illustrator⑦ グラフ作成・アピアランス応用	コンテンツ制作	
14	Photoshop⑦ レイヤーマスク・合成	フォトカラージュ	
15	Illustrator⑧ トリムマーク・アウトライン化・DM作成	印刷原稿の作成	
成績評価	<p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格</p>		

映像・写真科		講師名: 大島 遊季	
科目名: Adobe検定		1学年	後期
担当者実務経験: 3DCG制作会社を経て、現在フリーランスのイラストレーターとして活動中。 その他、音楽系専門学校兼任。		講義種別: 演習	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ Adobe Illustrator・Photoshopの基本操作から検定に必要なPC技術を身に着ける。 ・ Illustratorクリエイター能力認定試験・Photoshopクリエイター能力認定試験スタンダード級の合格を目指す。 		
回	授業内容	課題内容	備考
1	Ps フィルター、画像の入出力		
	Ai パスの応用操作		
2	Ps コンテンツ制作 フォトレタッチ①		
	Ai コンテンツ制作 イラストレーション		
3	Ps コンテンツ制作 フォトレタッチ②		
	Ai コンテンツ制作 イラストレーション②		
4	Ps コンテンツ制作 ロゴデザイン①		
	Ai コンテンツ制作 ロゴデザイン①		
5	Ps コンテンツ制作 ロゴデザイン②		
	Ai コンテンツ制作 ロゴデザイン②		
6	Ps コンテンツ制作 カード&ステーションナリー①		
	Ai コンテンツ制作 Webデザイン①		
7	Ps コンテンツ制作 カード&ステーションナリー②		
	Ai コンテンツ制作 Webデザイン②		
8	Ps コンテンツ制作 フォトコラージュ①		
	Ai コンテンツ制作 グラフの作成		
9	Ps コンテンツ制作 フォトコラージュ②		
	Ai コンテンツ制作 名刺、DMのデザイン		
10	Ps コンテンツ制作 Webデザイン		
	Ai コンテンツ制作 パンフレットのデザイン		
11	Ps 過去問題集①		
	Ai 過去問題集①		
12	Ps 過去問題集②		
	Ai 過去問題集②		
13	Ps 過去問題集③		
	Ai 過去問題集③		
14	Ps 試験課題①		
	Ai 試験課題①		
15	Ps 試験課題②		
	Ai 試験課題②		
成績評価	<p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価)80点以上 B評価)70～79点 C評価)60～69点 D評価)不合格</p>		

映像・写真科		講師名： 財津 香壽子	
科目名： 就職対策		1年	後期
担当者実務経験： 朝日新聞宣伝部、複数の企業人事部に勤務。大学キャリアセンターでキャリアカウンセラーとして勤務。厚労省国家試験/技能検定試験委員。		講義種別： 講義	
到達目標	①卒業後の進路を自ら選択・決定できるようになる。 ②社会人として求められる能力・姿勢を理解し、就職活動の流れ・ポイントを理解する。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	オリエンテーション	「学生生活マトリックス」作成	
	自己分析1		
2	自己分析2	ワーク「エゴグラム」	
	アセスメントから自分を知る		
3	他己分析		
	ワーク「ジョハリの窓」		
4	仕事理解	ワーク「職業興味検査」(VPI)	
	職業に対する興味を知る		
5	自己分析・他己分析から自己PRシートを作成		
	自己PRシート作成		
6	履歴書作成の基本	学校様式履歴書 基本項目記入	
	学校様式履歴書 基本事項の書き方		
7	趣味・特技・参加イベント、志望動機の書き方	個別対応	
	学校様式履歴書 趣味・特技・参加イベント 記入		
8	自己PRの書き方		
9	自己PR作成		
	個別対応		
10	ガクチカ(学生時代に力を入れたこと)の書き方		
11	ガクチカ(学生時代に力を入れたこと)作成		
	個別対応		
12	ES(エントリーシート)とは?		
	ESの書き方/応募書類作成の手順・郵送の知識		
13	面接とは?	個別対応	
	面接の基本と流れ		
14	web(うぇぶ)面接・グループディスカッションのポイント		
	個別対応		
15	履歴書作成・提出		
	個別対応		
成績評価	<p>期末の授業終了時に担当講師が評価し、成績を算出する。授業の2/3以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。</p> <p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。</p> <p>期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。</p> <p>各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。</p> <p>A(評価) 80点以上 B(評価) 70~79点 C(評価) 60~69点 D(評価) 不合格</p>		

映像・写真科		講師名： 財津 香壽子	
科目名： 就職対策		2学年	前期
担当者実務経験： 朝日新聞宣伝部、複数の企業人事部に勤務。大学キャリアセンターでキャリアカウンセラーとして勤務。厚労省国家試験/技能検定試験委員。		講義種別： 講義	
到達目標	就職だけを到達目標とせず卒業後の社会的・職業的自立に向け、必要な基礎となる能力・態度を育てる「社会に出るための準備教育」である。 ①卒業後の進路を自ら選択・決定できるようになる。 ②社会人として求められる能力・姿勢を理解し、就職活動の流れ・ポイントを理解する。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	オリエンテーション		
	自己PRの書き方/自己PR作成		
2	自己PR作成		
	自己PR作成/個別指導		
3	ガクチカの書き方		
	ガクチカの書き方/ガクチカ作成		
4	ガクチカ作成		
	ガクチカ作成/個別指導		
5	趣味・特技・参加イベント、志望動機の書き方		
	趣味・特技・参加イベント作成/個別指導		
6	履歴書作成・提出		
	学校様式履歴書作成(除・志望動機)/個別指導、授業終了時に提出		
7	他己分析		
	ジョハリの窓/個別指導		
8	面接とは?		
	面接の形式と流れ/身だしなみ/個別指導		
9	ウェブ面接・グループディスカッションのポイント		
	ウェブ面接・グループディスカッションのポイントと注意点/個別指導		
10	面接の質問と答え方		
	面接の質問と答え方/個別指導		
11	自己分析ワーク		
	状況に応じて個別指導(履歴書/ES作成、模擬面接など)		
12	ビジネスに必要な8つの意識と義務		
	個別指導		
13	プロフェッショナルとは?		
	DVD視聴/レポート作成		
14	組織人としての心構え①		
	共に働く力:コミュニケーションゲームを通して学ぶ		
15	組織人としての心構え②		
	まとめ/3年後のキャリアプラン作成		
成績評価	期末の授業終了時に担当講師が評価し、成績を算出する。授業の2/3以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70~79点 C(評価) 60~69点 D(評価) 不合格		

映像・写真科		金秀 研吾	
科目名: ポートフォリオ制作		1年	後期
担当者実務経験: コマーシャルフォトや雑誌等の撮影を手掛けるフォトグラファー		講義種別:	演習
到達目標	就職のためのポートフォリオを制作を基本から習得する		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ポートフォリオ添削	2年次に制作したポートフォリオを添削	
2	制作①	レイアウト・新規作品制作	
3	制作②	レイアウト・新規作品制作	
4	制作③	レイアウト・新規作品制作	
5	制作④	レイアウト・新規作品制作	
6	制作⑤	レイアウト・新規作品制作	
7	制作⑥	レイアウト・新規作品制作	
8	制作⑦	レイアウト・新規作品制作	
9	制作⑧	レイアウト・新規作品制作	
10	制作⑨	レイアウト・新規作品制作	
11	制作⑩	レイアウト・新規作品制作	
12	制作⑪	レイアウト・新規作品制作	
13	制作⑫	レイアウト・新規作品制作・入稿準備	
14	制作⑬	レイアウト・新規作品制作・入稿準備	
15	製本・講評	製本したものを提出	
成績評価	<p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70~79点 C(評価) 60~69点 D(評価) 不合格</p>		

映像・写真科		講師名： 金秀 研吾	
科目名： ポートフォリオ制作		2学年	前期
担当者実務経験： プロカメラマンとして25年以上活動		講義種別： 実技	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の方向性に沿ったポートフォリオを制作する。 ・作品が活きるレイアウトや装飾を行うことができる。 		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ポートフォリオ添削	2年次に制作したポートフォリオを添削	
2	制作①	レイアウト・新規作品制作	
3	制作②	レイアウト・新規作品制作	
4	制作③	レイアウト・新規作品制作	
5	制作④	レイアウト・新規作品制作	
6	制作⑤	レイアウト・新規作品制作	
7	制作⑥	レイアウト・新規作品制作	
8	制作⑦	レイアウト・新規作品制作	
9	制作⑧	レイアウト・新規作品制作	
10	制作⑨	レイアウト・新規作品制作	
11	制作⑩	レイアウト・新規作品制作	
12	制作⑪	レイアウト・新規作品制作	
13	制作⑫	レイアウト・新規作品制作・入稿準備	
14	制作⑬	レイアウト・新規作品制作・入稿準備	
15	製本・講評	製本したものを提出	
成績評価	<p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格</p>		